

**令和6年度
工学研究科博士後期課程
ガイダンス資料**

目次

- ① 本学の概要・構成等について
- ② 履修方法等について
- ③ Webメールの設定

① 本学の概要・構成等について

本学の概要

- 工学研究科博士後期課程の教育目的
- 工学専攻の教育目的
- 学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)
- 教育課程編成・実施の方針
(カリキュラム・ポリシー)
- 工学専攻の概要

※詳細については大学院履修要項6から8頁を参照してください

本学の構成

- 工学専攻
 - ①先端環境創生工学コース
 - ②先端生産システム工学コース
 - ③先端情報電子工学コース

工学研究科博士後期課程教育課程

必修科目10単位、博士前期課程各コース科目及び専攻共通科目から未修得の授業科目2単位以上、合計12単位以上修得してください。

【必修科目】

区分	授業科目名	単位数
研究指導科目群	ゼミナールⅠ	2
	ゼミナールⅡ	2
	特別研究	1
イノベーション科目群	イノベーションチャレンジ	2
	DC英語プレゼンテーション	2
	イノベーションチャレンジ特論	1

【博士前期課程各コース科目及び専攻共通科目】

・大学院履修要項24から41頁，46から63頁を参照してください

※詳細については、72から73頁を参照してください

修了の要件

3年以上在学し、12単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受け博士論文の審査及び最終試験に合格することが必要です。

【論文審査】

室蘭工業大学学位規則及び室蘭工業大学学位審査取扱規則を参照の上、研究指導教員の指示に従ってください。

また、論文の審査は、学位論文審査の取扱いに関する申合せに定める審査基準に基づいて行われます。

規則は以下URLから参照することができます。

http://en3-jg.d1-law.com/muroran-it/d1w_reiki/reiki.html

MOT教育プログラム

希土類材料工学教育プログラム

本学では大学院博士前期課程に「MOT教育プログラム」及び「希土類材料工学教育プログラム」を開設しており、修了者には各修了証を授与しております。

各プログラムは大学院博士後期課程学生も履修することが出来ます。

なお、各プログラムについては、大学院履修要項の下記ページに記載されておりますので参照してください。

・MOT教育プログラム：10・11・43・65頁

・希土類材料工学教育プログラム：12・44・66頁

また、環境調和材料工学教育プログラムについては、別途掲示資料がありますので、履修希望者は確認し履修ガイダンスを受講してください。

※両プログラムは、修了要件を満たすことにより修了証が授与されます

コンピュータ科学×専門分野でスマート社会を牽引するイノベーション人材育成プログラム (CS×専門プログラム)

文部科学省「国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラム」の採択プログラムであり、CS×専門プログラム入試の合格者に限り履修できるプログラムになります。

修了者には、室蘭工業大学大学院工学研究科「コンピュータ科学×専門分野でスマート社会を牽引するイノベーション人材育成プログラム」修了証を授与します。

なお、プログラムについては、大学院履修要項の13・72・73ページに記載されておりますので参照して下さい。

【必修科目】

授業科目名	単位数
コンピューター科学応用特論	2

【修了要件】必修科目2単位及び博士前期課程各コース科目から未修得の授業科目2単位以上を修得すること。なお、この修得した博士前期課程各コース科目は、本プログラムの修了要件単位数と同時に専攻が定める修了要件単位数に充当することができる。

在学年限，休学等について

博士前期課程は4年，博士後期課程は6年を超えて在学することは出来ません。

休学、退学、復学を希望する学生は希望する月の前月までに手続きをする必要があります。

各手続きについては、学務課大学院係にご相談ください。

室蘭工業大学大学院学則(抜粋)

(在学年限)

第7条 博士前期課程には4年を、博士後期課程には6年を超えて在学することはできない。

(休学)

第18条 疾病その他の理由により、3か月以上修学できないときは、学長の許可を得て休学することができる。

- 2 疾病のため修学が不相当と認められた者に対しては、学長は休学を命ずることがある。
- 3 休学期間は、通算して博士前期課程にあつては2年を、博士後期課程にあつては3年を超えることはできない。
- 4 休学期間は、これを在学期間に算入しない。

(復学)

第19条 休学期間中にその理由が消滅した場合は、学長の許可を得て復学することができる。

(退学)

第20条 疾病その他の理由により退学したい者は、理由書を添え学長に願ひ出てその許可を受けなければならない。

(除籍)

第22条 次の各号のいずれかに該当する者は、研究科委員会の議を経て、学長が除籍する。

- (1) 入学料の免除若しくは徴収猶予の不許可又は半額免除若しくは徴収猶予の許可を受けた者で、所定の期日までに入学料を納付しない者
- (2) 所定の期日までに授業料を納付せず、督促してもなお納付しない者
- (3) 第7条に定める在学年限を超えた者
- (4) 第18条第3項に定める休学期間を超えてなお修学できない者
- (5) 疾病その他の理由により成業の見込みがないと認められる者
- (6) 長期間にわたり行方不明の者

② 履修方法等について

履修方法

授業科目は、毎学期履修登録期間内に、履修登録をしなければ履修できません。授業科目の選択にあたっては、授業計画(シラバス)を熟読の上、各自の学習目標を定め、適切な選択を行ってください。

【博士後期課程学生の履修登録に関する特例】

博士後期課程の必修科目については、教員より成績が提出された際に学務課で履修登録を行うので、履修登録を行う必要はありません。

なお、博士前期課程コース科目及び専攻共通科目については、別途資料「履修登録関係手続きについて」を参照し、CAMPUS SQUAREから履修登録してください。

令和6年度後期履修登録期間 10月1日(火)～10月11日(金)17時

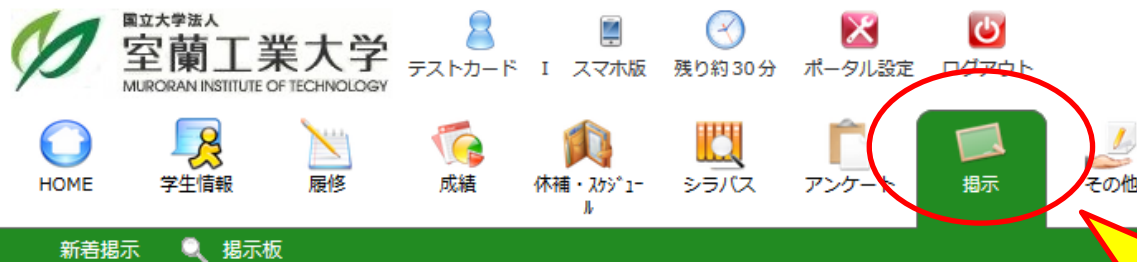
CAMPUS SQUARE

CAMPUS SQUAREとは、パソコンから履修登録、成績確認、時間割確認等ができるシステムです。なお、授業に関することなどの大学からのお知らせはこの「CAMPUS SQUARE」の掲示板でお知らせすることにしていきます。(次ページ参照)1日1回は必ずログインして掲示板に掲載されている通知を確認してください。

ログインするのに必要なキャンパスID及びパスワードは、10月1日に配布する資料の中に含まれています。

CAMPUS SQUAREの詳細な操作方法等についてはCAMPUS SQUAREの掲示板にマニュアルを掲示しますのでそちらを参照してください。

【重要】授業等に関する掲示の確認方法



ここを選択すると、授業に関する重要な掲示を確認できます。

新着情報
あなた宛の新着情報はありません。

MYスケジュール

2020年4月

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

2020/04/09(Thu)
登録されている予定はありません

リンク
Myリンク編集

- よく使うメニュー
- 学生情報参照
 - 履修登録・登録状況照会
 - 単位修得状況照会
 - 休講補講参照

新着掲示

- 授業掲示板 […もっと読む](#)
- 呼び出し […もっと読む](#)
- 個人向けのお知らせ […もっと読む](#)
- 行事予定 […もっと読む](#)
- 全学掲示板 […もっと読む](#)
【重要】新型コロナウイルス感染拡大を防ぐ...

1日1回は必ず確認してください！！

シラバス

シラバスとは、開講される授業科目について授業のねらい、到達度目標、授業計画、成績評価方法、担当教員の連絡先等の授業に関する内容を詳細に記述したものです。履修登録をする前にシラバスで授業内容等を確認して履修計画を立てるように心がけてください。

シラバスは本学ホームページやCAMPUS SQUAREで見ることができます。

③ Webメールの設定

Webメールのチェック

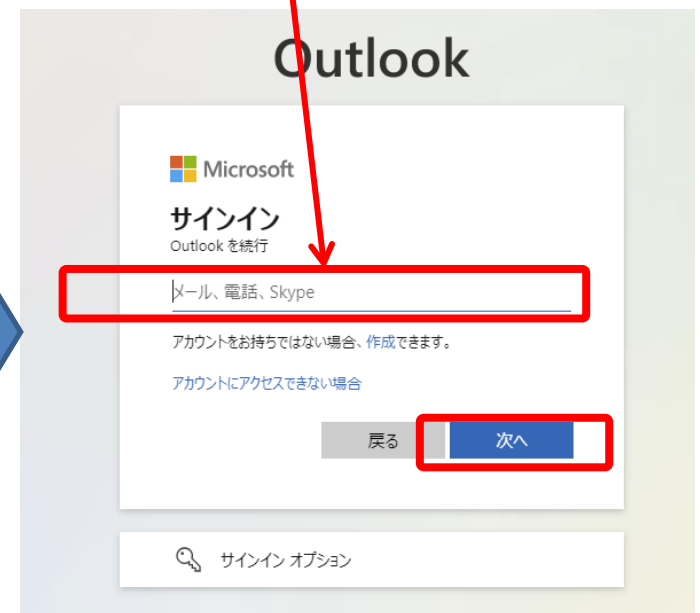
- ・1日に1度はチェックしましょう。
- ・在学中は、学生の公式なメールアドレスとなります。
- ・授業等に係る大学からの重要な連絡が届きます。



Webメールのログイン方法

1. ブラウザを起動
2. icte.muroran-it.ac.jpをアクセス
3. Outlook on the webをクリック

アカウント通知書のメールアドレス、
パスワードを入力する



メール転送の設定

大学でのメールを自分のPCやスマホに転送

教員や学務課からの連絡はメールで行われる場合もあるので、必ず設定すること。

スマホまたは電話会社のメール設定で、
@muroran-it.ac.jp からのメール受信を許可するように設定する

メール転送の設定



設定

設定を検索

全般

メール

予定表

連絡先

レイアウト

作成と返信

添付ファイル

ルール

一括処理

迷惑メール

クイック操作

アクションのカスタマイズ

メールを同期

メッセージの取り扱い

転送

自動応答

アイテム保持ポリシー

S/MIME

グループ

レイアウト

優先受信トレイ

重要なメールに注目できるように、メールを自動的に分類しますか？

メッセージを優先とその他に分類する

メッセージを分類しない

テキストのサイズと間隔

これにより、フォント サイズとメッセージ数を変更されます。

小

中

大

メッセージをまとめて表示

メッセージの表示方法を選んでください。

メールをスレッドごとにグループ化

メールを個別のメッセージとして表示

閲覧ウィンドウの配置

メール転送の設定

設定

設定を検索

全般

メール

予定表

連絡先

レイアウト

作成と返信

添付ファイル

ルール

一括処理

迷惑メール

クイック操作

アクションのカスタマイズ

メールを同期

メッセージの取り扱い

転送

自動応答

アイテム保持ポリシー

S/MIME

グループ

転送

自分へのメールを別のアカウントに転送できます。

転送を有効にする

メールの転送先:

メール アドレスを入力してください

転送されたメッセージのコピーを保持する

チェックを入れる

スマホのアドレスなど

保存

破棄